

平成 23 年 8 月 8 日  
東 北 電 力 株 式 有 限 公 司

## お知らせ

### 東京電力株式会社から当社への電力融通について

当社は、電力需給が逼迫している状況を踏まえ、現在、東京電力より最大 80 万 kW の電力融通を受けておりますが、本日（8 月 8 日）11 時～12 時の 1 時間値（速報値）において、当社の供給力 1,246 万 kW に対し、需要が 1,212 万 kW となりました。この結果、予備率が 2.8% と、3% を下回る状況となりました。

こうした気温上昇や需要増加を考慮して、本日 13 時 30 分から 18 時まで、東京電力より、さらに追加で 30 万 kW の電力融通を受けることといたしました。

当社は、先般の新潟・福島豪雨により、新潟県、福島県の水力発電所が被害を受け、供給力が減少<sup>※1</sup>していることから、現在、東京電力より電力融通を受けており、今回の追加により最大 110 万 kW の融通を受けることになります。

今後、電力需給が逼迫する場合、東京電力からは、さらに最大 30 万 kW 程度の電力融通をいただける見通しとなっております（東京電力からの電力融通は、最大で 140 万 kW）。

本日の今後の気温等の状況によっては、さらに需要が増加することも予想されますので、引き続き、節電へのご協力をお願い申し上げます。

現在の電力需給逼迫に伴う電力融通の状況は、以下のとおりです。

相手先	期 間	融通量 (kW)
東京電力	8 月 8 日 6 時から 11 日 22 時まで	30 万 kW <sup>※2</sup>
東京電力（全国融通 <sup>※3</sup> ）	8 月 8 日 10 時から 17 時 15 分まで	最大 50 万 kW
東京電力（全国融通 <sup>※3</sup> ）	8 月 8 日 13 時 30 分から 18 時まで	30 万 kW

なお、この他、日本卸電力取引所<sup>※4</sup>の活用も行っております。

- ※1 8 日現在、第二沼沢発電所の 45 万 kW をはじめ、約 100 万 kW の供給力が減少している状況にあります。各発電所の復旧に向けて、現在、調査・復旧作業を実施しておりますが、現時点において具体的な復旧時期は未定です。
- ※2 東京電力が北海道電力から受電している融通を当社に譲渡していただくものです。
- ※3 電力需給が厳しいと予想する場合、電力会社間の連系線利用を管理する E S C J（電力系統利用協議会）および相手電力会社に原則 2 時間以上前までに連絡、協議を行うこととなっております。

※4 電力会社や新規参入事業者が会員になっており、電気の取引を仲介する一般社団法人です。

以 上

《参 考》 8月8日の状況

	供給力	需 要	織り込み融通量
8月7日18時想定	1, 226万kW	1, 180万kW	60万kW (30万+30万)
8月8日10時想定	1, 246万kW	1, 200万kW	最大80万kW (30万+50万)
8月8日12時想定	1, 276万kW	1, 230万kW	最大110万kW (30万+50万+30万)